

平成28年度 教育事業 おおすみなるほど探検隊

- 1 趣 旨 大隅半島の自然環境についての知識を深め、それを大切にしていこうとする態度を養うとともに、海に親しみ安全に活動するための知識・技術を習得する。
- 2 期 日 平成28年7月16日（土）～17日（日） 1泊2日
- 3 対象者 小学校4年生～中学3年生
- 4 募集定員 40人
- 5 参加者 37人（申込93人）
- 6 指導者 アウトネットワーク(株) 堀之内 裕行氏
国立大隅青少年自然の家職員
ボランティア7人



7 日程と主な活動

7月16日（土）	7月17日（日）
10:30 受付	6:00 起床・清掃
10:50 出合いのつどい	7:00 朝のつどい
11:00 オリエンテーション	7:20 朝食（オープンサンド）
11:20 テント設営	8:00 テントかたづけ
12:00 昼食	8:30 更衣・活動準備
13:00 スノーケリング準備	9:00 バス移動
14:00 水慣れ・スノーケリング練習	9:30 荒平天神到着・準備体操
15:20 あとかたづけ・更衣	9:50 スノーケリングで海中観察
16:30 夕食作り（野外炊飯）	11:30 バス移動
18:00 夕食	12:00 更衣・あとかたづけ
19:30 スライドショー「錦江湾の生き物」	12:30 昼食（お弁当）
20:15 ミーティング・シャワー	13:30 ふりかえり・まとめ
22:00 消灯	14:00 別れのつどい
	14:25 解散

8 事業運営

- (1) 錦江湾に面した施設の立地条件を活かし、スノーケリング活動をメインにした構成とした。遠浅の新城海の家前の海浜エリアで練習し、生き物観察可能な場所として、荒平天神での活動を2日目に設定した。
- (2) 効果的にスノーケリングの練習を行うため、ダイビングインストラクターの資格を持つアウトネットワーク(株)の堀之内裕行氏を指導者として招聘した。



9 事業の実際

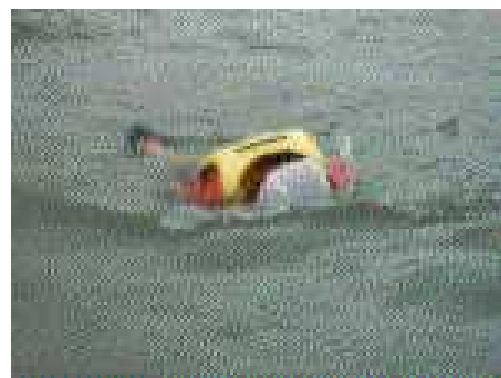
(1) スノーケリングを新規導入するにあたって、特に安全面について細心の注意を払い、1日目に用具の扱い方や呼吸の仕方についての練習を行った。

また、スノーケリングという活動を通して、海で活動する際の危険な状況や、事故を防ぐために気を付けることなども合わせて説明を行った。

参加者は、スノーケリング体験中もバディであることを心がけ安全に活動していた。

(2) スノーケリングを単なる「楽しい活動」で終わらせるのではなく、より深い学びにつなげるため、1日目の夜に錦江湾の概要や生き物に関するスライドショーを行った。クイズを交えながら講義を進めたことにより、より水中の世界に興味を持つようになり、次の日への動機付けの機会となった。

(3) 2日目は波があり、透明度が低かったためあまり魚を見ることができなかったが、参加者を囲む形でレスキュースタッフを配置し、プログラムを実施した。参加者はバディ同士で気にかけてあいながら、波間での遊覧を楽しみ、また海藻に付着したワレカラ（小さな甲殻類）に興味深く観察していた。



10 参加者の感想

- はじめてのスノーケリングだったけど、海の中が見れてとても楽しかった。
- 海はこわいとおもっていたけど、スノーケリングをやって、楽しいことがわかった。
- すこししか魚は見れなかったけど、海にうかんでもおもしろかった。
- ふしぎな生き物を発見して、みんなでかんさつしておもしろかった。
- バディや班のみんなと力をあわせて、とても楽しい2日間だった。

11 成果

- ダイビングインストラクターとともに活動を進めたため、スノーケリングを実施する上での安全管理体制のありかたについて、ノウハウを蓄積することができた。
- セーフティトークをしっかりと行い、水辺の活動の楽しさと危険性の両方を伝えたことにより、夏休み前の安全教育の機会にもなった。

